



鐙島小だより

令和8年10月26日

校長 野口 典弘

第7号



<http://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510036>



失敗から学び、許容し合える温かい学校

先日のカムチャッカ半島付近を震源とする地震の際、本校でも突如として緊急地震速報が鳴り響きました。その瞬間、子どもたちの対応は実に素晴らしいものでした。誰もが慌てることなく落ち着いて動きを止め、学年によっては素早く机の下に入るなど、しっかりと身を守る姿勢をとっていました。日頃から行っている避難訓練の成果を遺憾なく発揮し、いざという時に冷静に行動できた子どもたちの姿に校長として心からの大きな拍手を送りたいと思います。

結果として今回の速報は誤報となりましたが、その後のニュース報道で街の人々の声が紹介されていました。その中に「申し訳ありませんでは済まない」という厳しい意見があり、私は少し考えさせられました。

もちろん、速報は正確であるに越したことはありません。しかし、緊急地震速報は「被害を未然に防ぎ、大切な命を守るため」に未来の危険を予測して発信されるものです。もし「これくらい大丈夫だろう」と予測が怠られ、万が一予期せぬ大きな揺れや津波が襲ってきたとしたら——それこそ、決してあってはならないことです。「危険かもしれない、だから備えよう。結果的に何事もなく良かった」というのは、危機管理においてこそ許容されるべき、極めて大切な「余白」なのではないでしょうか。

そしてこの考え方は、子どもたちの学びや成長にとっても、非常に大切な共通点を持っているように感じています。

「間違えてはいけない」「失敗してはいけない」と過度に恐れるのではなく、「間違えても大丈夫。大切なのは、その原因をしっかりと見つめ、次に活かすことだ」と言える学校でありたいと思います。今回で言えば、「なぜ誤報が起きたのか」を科学的に解明し、システムや備えを改善していく姿勢こそが重要です。

取り返しのつかない事故や命に関わることでない限り、失敗や間違い、回り道を温かく許容できる寛容な学校でありたい。ミスを極度に恐れるのではなく、間違いから学び、何度でも一歩を踏み出せる温かい環境の中で、子どもたちの健やかな成長を保護者の皆様と共に温かく見守っていきたいと思います。



つつじ園に新しい仲間

今年の1年生「つばさ学年」のつつじがつつじ園の仲間入りをしました。昭和57年から始まったつつじ活動をこれからも大切にしていきます。



吉田川柳作り

10月1日(木)、地域コーディネーターの山口洋樹様を講師にお迎えし川柳作りを行いました。子どもたちは、ふるさと吉田の良さを情感豊かに川柳に詠み上げました。作品は、YOSHIDA 祭にて発表しました。

秋のマラソン大会

「これ以上ない絶好のコンディション!!」と言えるほどの最高の舞台のもと、子どもたちがマラソンコースを駆け抜けました。今年は、春秋合わせて3つの新記録が生まれるなど非常にハイレベルなレースとなりました。6年生にとっては小学校最後のマラソン大会。自分の目標に向かって最後まで全力を尽くす姿は、見る人に大きな感動を与えてくれました。



地域の皆さん、コース整備大変ありがとうございました。

文化祭練習

文化祭まであと少し。音楽交歓会でも発表する合唱・合奏練習にも力が入ってきました。日頃の練習の成果を10月31日(土)に発表します。ぜひ、地域の皆さんもご来校ください。

